

安彦教授定年退職記念号寄稿のお願い

滋賀大学教育学部倫理学・哲学研究室

2012年8月10日

本研究室所属で滋賀大学に32年間勤務されてこられた安彦一恵（一恵）先生が本年3月末で定年退職されました。本研究室ではこれを記念して、本誌『dialogica』次号を御退職記念号とし、広く全国の研究者の方々からも先生のご研究に関わる論稿をご寄稿いただきたいと思いますと考えております。

なお、記念号のあるべき方向性に関しては、先生御本人から次のような御要望が送られてきています。

「私の研究（本号からリンクを張って頂いた「研究業績一覧」ページも参照して下さい）に言及して頂けるとして、（通常の「記念号」論稿とはかなり異なったものとなるであろうが）できるだけ批判的なコメントをお願いしたいと思う。私としては、それに応えるというかたちで“定年後”の研究を進めていきたいとも考えている。また、— 私の「退職」を「記念」して頂く特集号ではあるが— 私の研究をいわばダシにするかたちで、諸論点について活発な論争状態が生じることも期待している。そのために、私の（ほぼ）同一の研究テーマ・論稿（群）について、複数の、かつ相互に異なったコメントがなされることなども期待させて頂きたい。本誌 dialogica は、「研究室誌」ではあるが、まさしく「対話（対論）」を展開する、あるいは、（いわば研究組織としての「社会貢献」活動として）その場を提供するという趣旨で誌名が付けられたものである。この趣旨に従って、私も過去いくつか対論的な論稿を掲載させて頂いたが、ここでその「対論」の相手とさせて頂いた方々からなんらかの「応答」が在ることも期待させて頂きたい。」

次号の発刊は本年度末の予定ですが、ご寄稿頂ける方は、まずは11月末までに次号編集担当の神崎までメールでご連絡いただきますようお願いいたします。連絡先アドレスは、この「お願い」の一番下をご覧ください。

以上、よろしくお願い申し上げます。

神崎宣次 : kanzaki@edu.shiga-u.ac.jp

(本号目次ページに戻る = http://www.edu.shiga-u.ac.jp/dept/e_ph/dia/1491.html)